



情報収集衛星に係る経費の 平成27年度予算概算要求

内閣衛星情報センター

1. 概算要求の方針

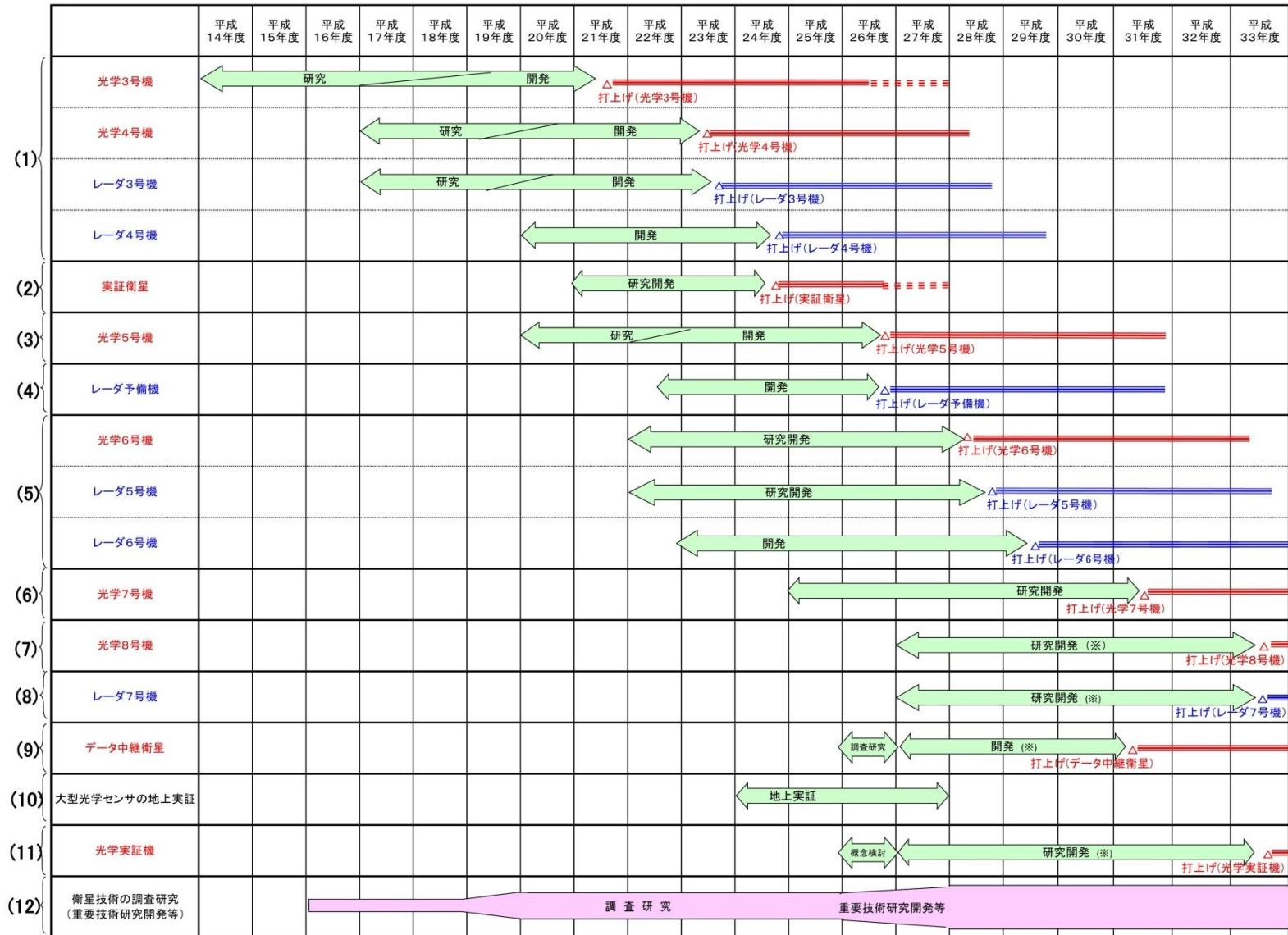
- (1) 外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的とした情報収集衛星の開発・運用を行う。
- (2) 必要な情報収集のため、当初の目標である特定地点を1日1回以上撮像するために必要な光学衛星2機、レーダ衛星2機の4機体制を確実なものとするとともに、より高い撮影頻度とすることによる情報の量の増加、商業衛星を凌駕する解像度とすること等による情報の質の向上、増大するデータの受送信を迅速に行うこと等による即時性の向上等により、情報収集衛星の機能の拡充・強化を図る。
- (3) 4機体制の確実化、情報の量の増加、情報の質の向上等のための光学8号機、レーダ7号機の開発に着手する。
- (4) 即時性の向上等のためのデータ中継衛星の開発に着手する。
- (5) 大型光学センサ等の確実な実用化を目的とした軌道上実証のための光学実証機の開発に着手する。
- (6) 情報収集衛星システムの機能・性能の抜本的向上のため、実利用を目指した重要技術の先行研究開発を拡充・強化する。

2. 概算要求の概要 (単位：億円)

経費区分	平成26年度 予算額	平成27年度 要望基礎額	平成27年度 要望額	計	対前年度 比較増減
(1) 情報収集衛星の運用等	131	141	8	149	19
(2) 実証衛星を用いた軌道上実証	7	9	0	9	2
(3) 光学5号機の開発	80	8	0	8	▲72
(4) レーダ予備機の開発	92	4	0	4	▲88
(5) 光学6号機、レーダ5、6号機の開発	144	299	40	339	194
(6) 光学7号機の開発	53	30	39	68	15
(7) 光学8号機の開発	—	0	4	4	4
(8) レーダ7号機の開発	—	0	12	12	12
(9) データ中継衛星の開発等	2	0	24	24	22
(10) 大型光学センサ地上実証	71	22	0	22	▲49
(11) 光学実証機の開発等	2	0	24	24	22
(12) 衛星技術の調査研究等(重要技術研究開発等)	28	34	0	34	6
合計	610	546	151	697	87

(注) 四捨五入のため、必ずしも合計が一致するわけではない。

3. 概算要求の概要 (開発・運用スケジュール)



(※) 平成27年度概算要求時点での見通しであり、今後、変更が生じ得る。